

RS6100

ウェアラブル スキャナ



ZEBRA

クイック スタート ガイド

2023/04/03

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2023 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/linkoslegal.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンドユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

機能

このセクションでは、シングルトリガおよびダブルトリガ RS6100 の機能について説明します。

図1 シングルトリガ構成の上面図

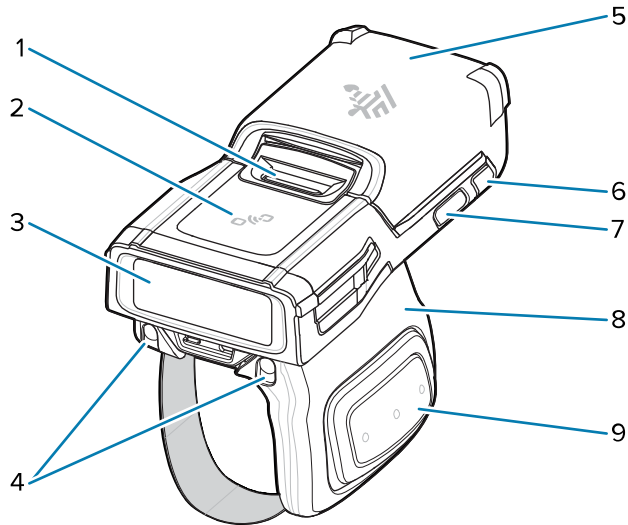


表1 シングルトリガ構成の上面図

1	バッテリー リリース ラッチ
2	NFC アイコン
3	イメージ ウィンドウ
4	クレードル用充電パッド
5	バッテリー
6	システム LED
7	復元キー
8	トリガ アセンブリ
9	側面スキャントリガ

図2 ダブルトリガ構成の上面図

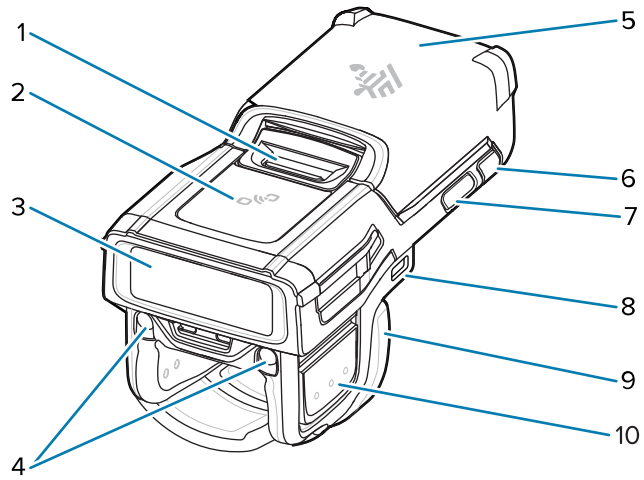


表2 ダブルトリガ構成の上面図

1	バッテリー リリース ラッチ
2	NFC アイコン
3	イメージャ ウィンドウ
4	クレードル用充電パッド
5	バッテリー
6	システム LED
7	復元キー
8	USB-C ポート (一部の構成では使用できません)
9	トリガ アセンブリ
10	側面スキャントリガ

図3 底面図、シングルトリガ構成を示します

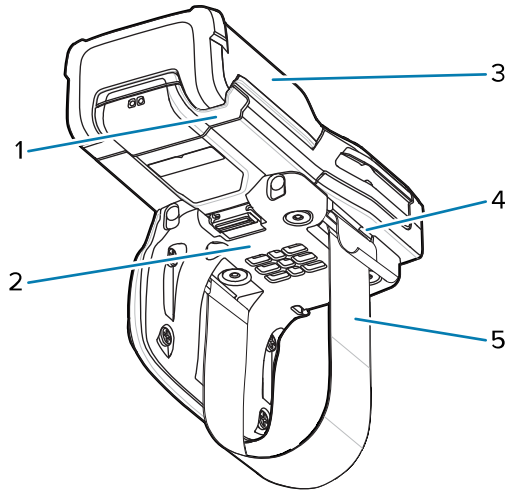


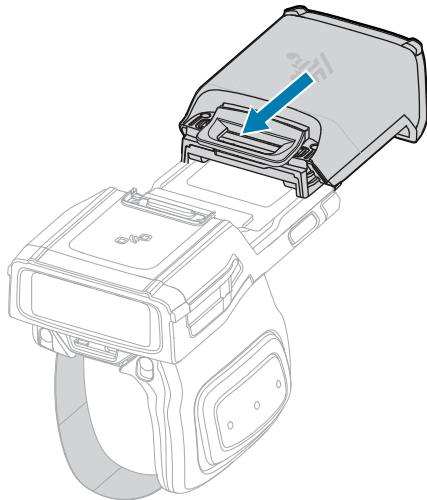
表3 底面図、シングルトリガ構成を示します

1	システム LED
2	コンフォート パッド
3	バッテリー
4	ストラップ バックル
5	フィンガー ストラップ

バッテリーの取り付け

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

1. RS6100 にバッテリーを合わせ、バッテリー収納部に挿入します。



2. バッテリーをロック スロットに完全にスライドさせます。

3. カチッという音が聞こえるまで RS6100 内にバッテリーをしっかりと押し、バッテリー リリース ラッチを本体に完全にはめ込みます。

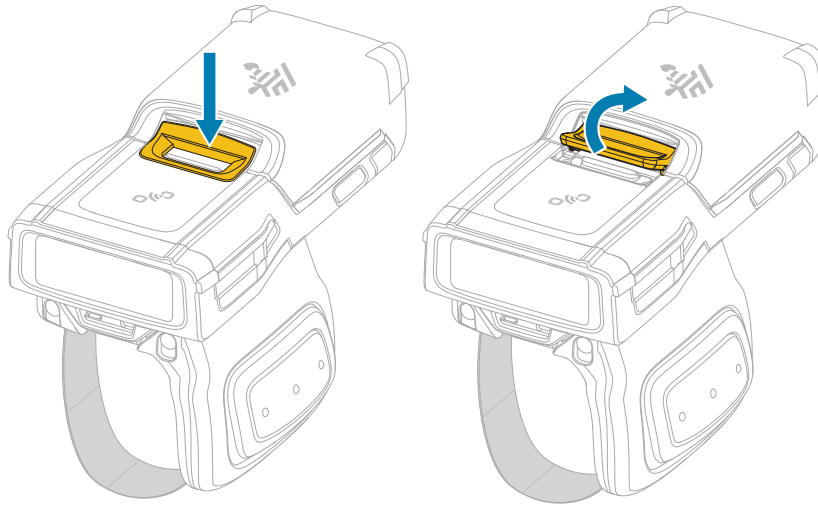


注: 工場から出荷された新品のバッテリーは、保護のため到着時は出荷モードになっています。バッテリーを有効にするには、充電器 (クレードルまたはバッテリー充電器) に差し込む必要があります。

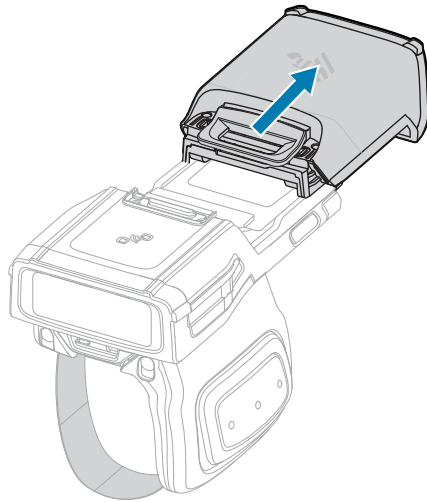
バッテリーの取り外し

バッテリーを取り外すには、次の手順に従います。

1. ラッチが持ち上がるまで、バッテリー リリース ラッチを押し込みます。



2. バッテリーを、バッテリー収納部からスライドして取り出します。



RS6100 を指に装着する

RS6100 を指に正しく装着するには、スキャナを人差し指の上にスライドさせ、スキャントリガが親指の横に来るようにします。



注：その他の取り付けオプションについては、『RS6100 Product Reference Guide』を参照してください。

図4 単一トリガ

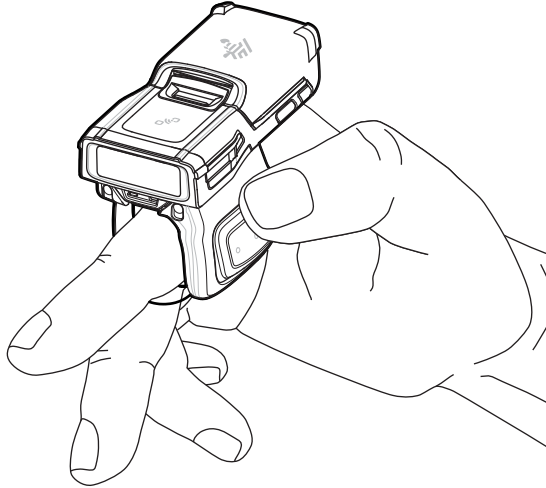
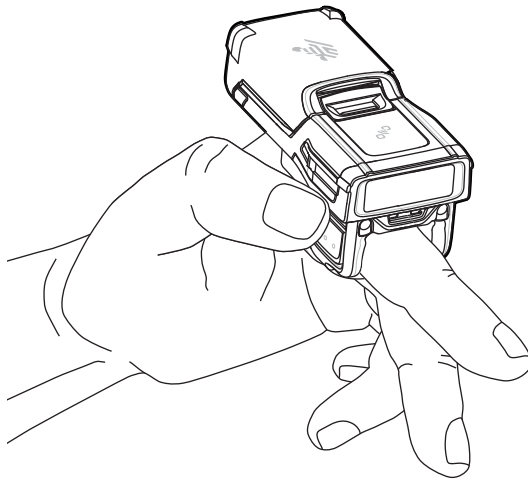
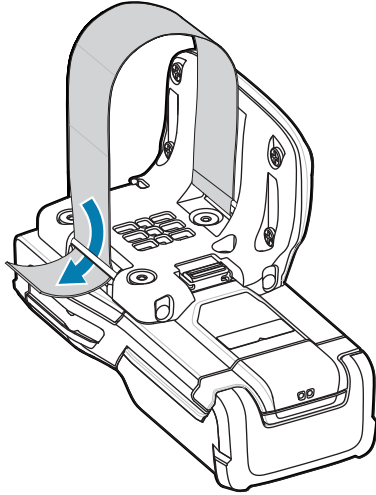


図5 ダブルトリガ



シングルトリガのフィンガーストラップを締めるには、ストラップの端をストラップバックルに通します。フィンガーストラップを緩めるには、バックルからストラップを引き出しながら、ストラップからストラップバックルを取り外します。バックルを外して、フィンガーストラップを所定の位置に固定します。



電源オン

デバイスの電源をオンにするには、次の手順に従います。

1. バッテリを取り付けます (まだ取り付けられていない場合)。



注: 工場から出荷された新品のバッテリーは、保護のため到着時は出荷モードになっています。バッテリーを有効にするには、充電器 (クレードルまたはバッテリー充電器) に差し込む必要があります。

2. 次のいずれかを押します:
 - シングルトリガの側面スキャントリガ
 - ダブルトリガの左側スキャントリガ
 - ストラップのスキャントリガ
 - ハンドマウントの背面にあるスキャントリガ

Bluetooth 接続



注: 下記の接続方法は、Zebra モバイル コンピュータのみに適用されます。詳細については、『RS6100 Product Reference Guide』を参照してください。

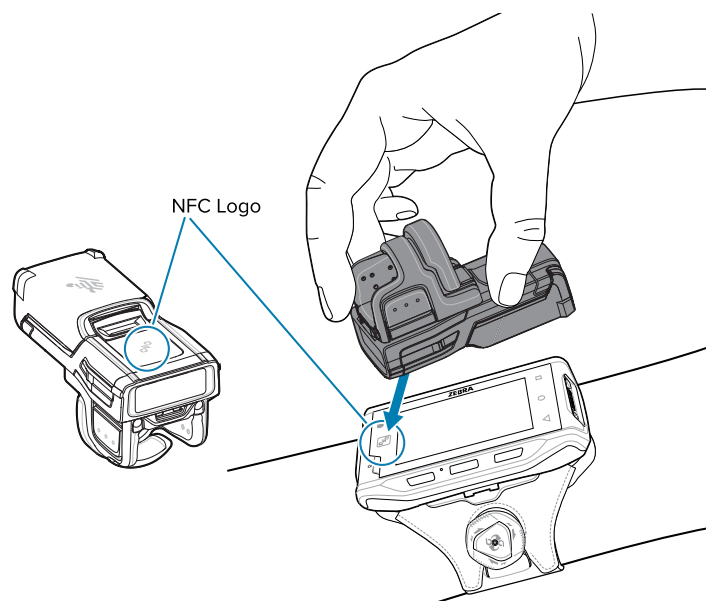
NFC タップツーペア

RS6100 は NFC 対応で、Bluetooth タップツーペアをサポートします。

WT6300 や TC52 などのデバイスに接続するには、次の手順に従います。

1. NFC がデバイスで有効になっていることを確認します。
2. RS6100 の NFC アイコンとデバイスの NFC アイコンを合わせます。

RS6100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、青色のステータス LED が点滅します。接続が確立されると、ステータス LED が消灯し、RS6100 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。



注: すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能をサポートしているわけではありません。

Scan2Pair

SSI を使用して RS6100 を WT6300 や TC52 などのデバイスにペアリングするには、次の手順に従います。

1. デバイスで、> の順にタッチします。[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) が開きます。



2. RS6100 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。

RS6100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、青色のステータス LED が点滅します。接続が確立されると、ステータス LED が消灯し、RS6100 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。デバイスで、ペアリングが成功したことを示すトースト通知 (音声および画像) が表示されます。Bluetooth 接続が確立されると、デバイスの画面上にポップアップ通知が表示されます。

3. デバイスで、をタッチしてメイン画面に戻ります。

スキャン

RS6100 では、デジタル カメラの技術を用いてバーコードの画像を撮影し、ソフトウェア読み取りアルゴリズムによって画像からバーコード データを抽出します。RS6100 には SE55 スキャン エンジンが搭載されており、緑色のダッシュドットダッシュ照準を表示します。

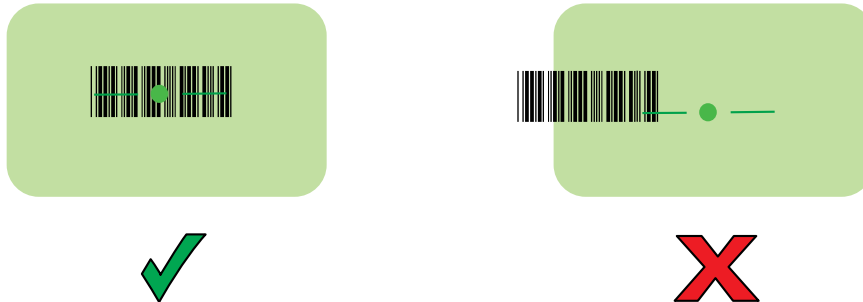
バーコードをスキャンするには、以下の手順に従います。

1. スキャン アプリケーションを起動します。
2. スキャン トリガを押して、デバイスをバーコードに向けます。



注: バーコードが透明なプラスチックの下にある場合や、モバイル コンピュータの画面上にある場合は、反射を最小限に抑えるために、チルト角 (ピッチ角) またはスキュー角をつけてスキャンします。

3. デバイスの位置がバーコードから約 5 ~ 28cm (2 ~ 11 インチ) の距離になるように調整し、バーコードの中央に緑色の LED 照準パターンが表示されるようにします。



LED ライトが緑色に点灯してビープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。



注: 一部の構成では、バーコードを正しく読み取ったことが、モバイル コンピュータ上で動作するソフトウェア アプリケーションで示されます。

充電



注: 『RS6100 Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

RS6100 およびまたは予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。これらのアクセサリは充電専用であり、通信機能は提供しません。

RS6100 (デバイス内のバッテリー):

- 4 スロット RS6100 充電クレードル (p/n CRD-RS61-4SCHG-01)
- 20 スロット RS6100 充電クレードル (p/n CRD-RS61-20SCHG-01)

予備バッテリー:

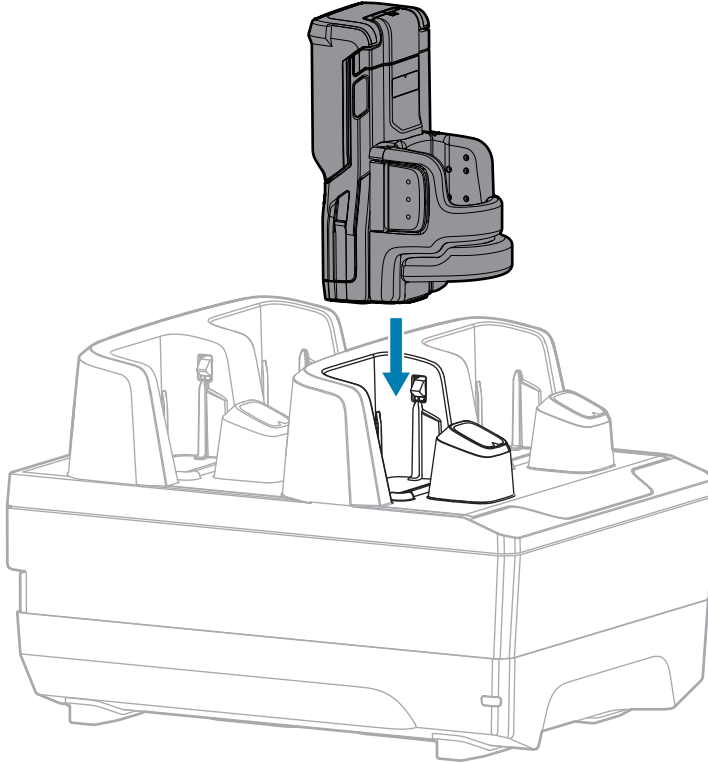
- 8 スロット バッテリー充電器 (p/n SAC-RS51-8SCHG-01)
- 40 スロット バッテリー充電器 (p/n SAC-RS51-40SCHG-01)

すべての充電アクセサリの詳細については『RS6100 Product Reference Guide』を参照してください。

RS6100 の充電

RS6100 を充電するには:

1. スキャンウィンドウを充電端子に向けて、RS6100 を 4 スロットまたは 20 スロット充電クレードル スロットのいずれかに挿入します。



2. RS6100 が充電スロットに正しく取り付けられていることを確認してください。

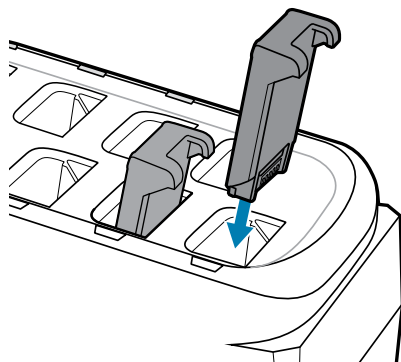


注: Bluetooth 経由のファームウェアの更新を実行する前に、RS6100 を充電します。

予備バッテリーの充電

予備バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 予備バッテリーを 8 スロットまたは 40 スロット バッテリー充電器スロットのいずれかに挿入します。



2. バッテリーが正しく取り付けられていることを確認してください。充電 LED が点滅している場合は、充電中であることを示します。

バッテリーの充電

RS6100 の充電 LED はスキャナのバッテリーの充電状態を示し、予備バッテリー充電 LED は予備バッテリーの充電状態を示します。



注：工場から出荷された新品のバッテリーは、保護のため到着時は出荷モードになっています。バッテリーを有効にするには、充電器 (クレードルまたはバッテリー充電器) に差し込みます。

表 4 充電 LED インジケータ

状態	表示
オフ	<p>バッテリーが充電されません。</p> <p>RS6100 またはバッテリーが、クレードルまたは充電器に正しく挿入されていないか、電源に接続されていません。</p> <p>クレードルが給電されていません。</p>
黄色で点灯	バッテリーが充電中です。
緑色で点灯	バッテリーの充電が完了しています。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	<p>充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの温度が、充電するには低すぎるか高すぎる。 • バッテリーの充電サイクルがタイムアウトに達した。バッテリーが、フル充電サイクルの目安時間 (通常 8 時間) を経過しても充電できない。
赤色で点灯	劣化したバッテリーが充電中である、または完全に充電されています。

バッテリーの充電は、5～40°C (41～105°F) の温度で行います。標準バッテリーは、室温で 2.5 時間以内に 0～90% まで充電されます。充電温度が 5～10°C (41～50°F) の場合は、標準バッテリーは 5 時間以内に充電されます。

デバイスおよび充電器は、バッテリーの温度を監視します。バッテリーの充電は、バッテリーが安全な充電温度範囲内にあるときにのみ実行されます。高温時 (約 +35°C 以上 (+95°F 以上) など) には、デバイスまたは充電器はバッテリーを適切な温度に保つため、短時間でバッテリー充電を中止したり、再開することがあります。このプロセスでは、フル充電サイクルを完了するために、さらに時間が必要な場合があります。RS6100 または充電器は、異常な温度のために充電を行えなくなると、ステータス LED でそれを示します。

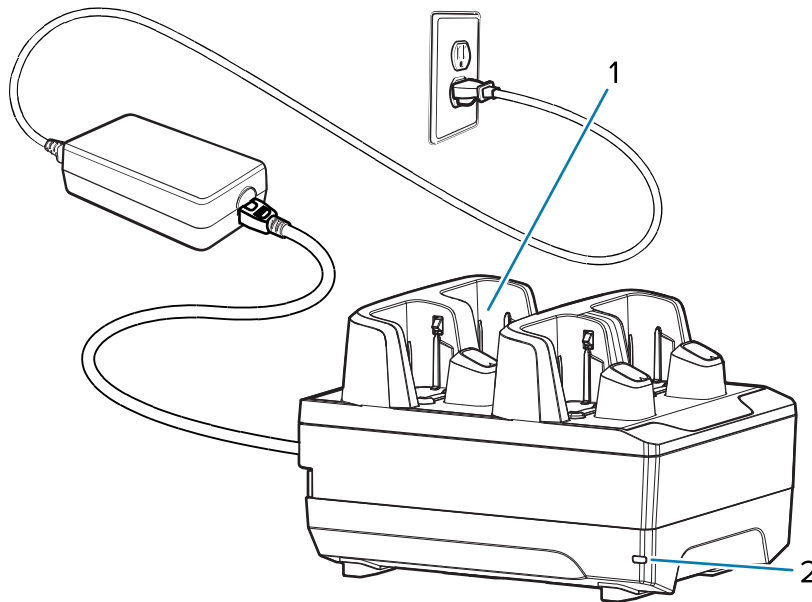
4 スロット充電クレードル

4 スロット RS6100 充電クレードルは、RS6100 の動作に必要な電力を供給し、RS6100 内の最大 4 個のバッテリーを充電します。



注：『RS6100 Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

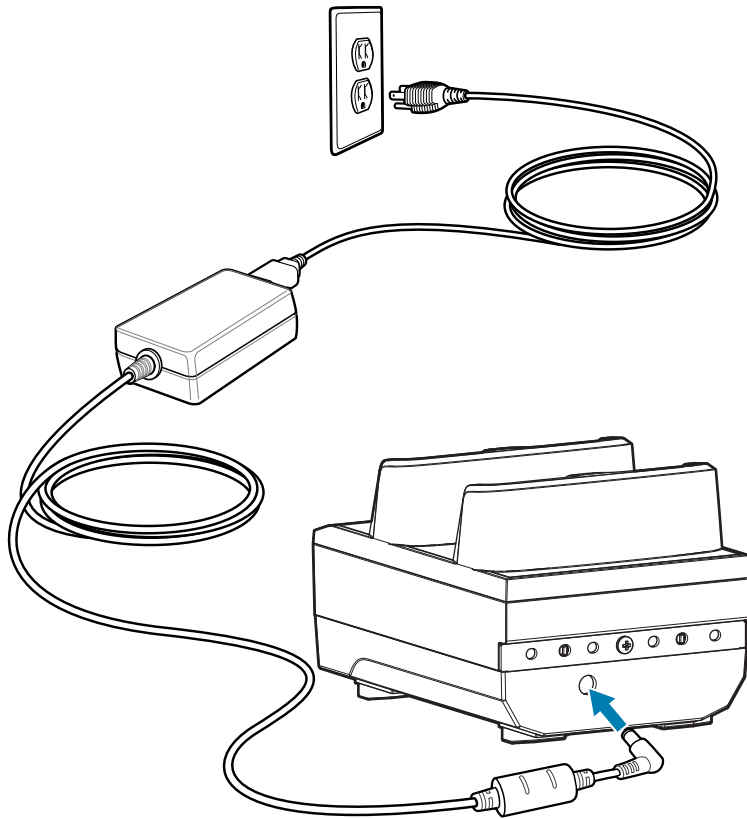
図 6 4 スロット充電クレードル



1	RS6100 充電スロット (4)
2	電源 LED

4 スロット充電クレードルのセットアップ

図7 4 スロット充電クレードルのセットアップ



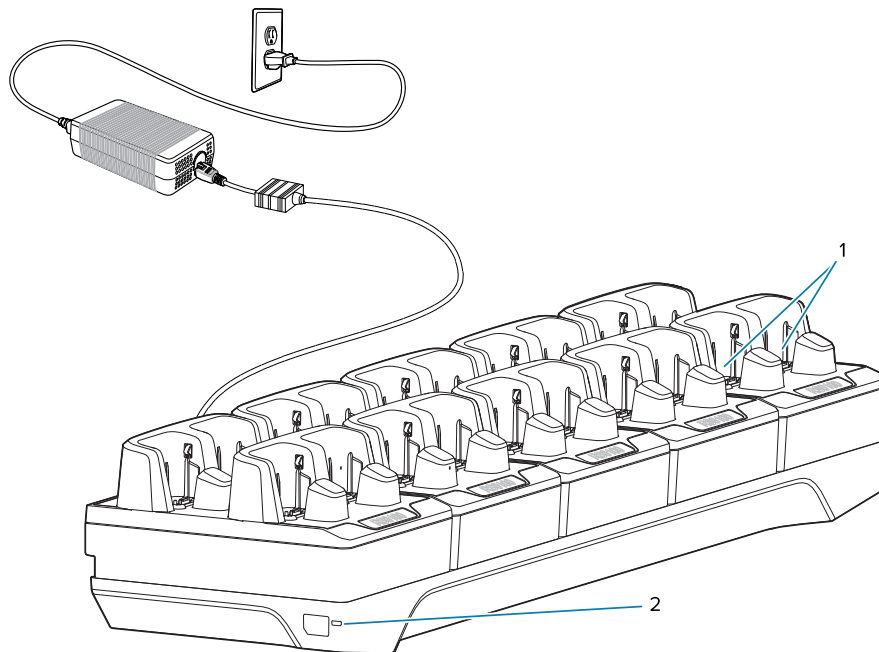
20 スロット充電クレードル

20 スロット RS6100 充電クレードルは、RS6100 の動作に必要な電力を供給し、RS6100 内の最大 20 個のバッテリーを充電します。



注：『RS6100 Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

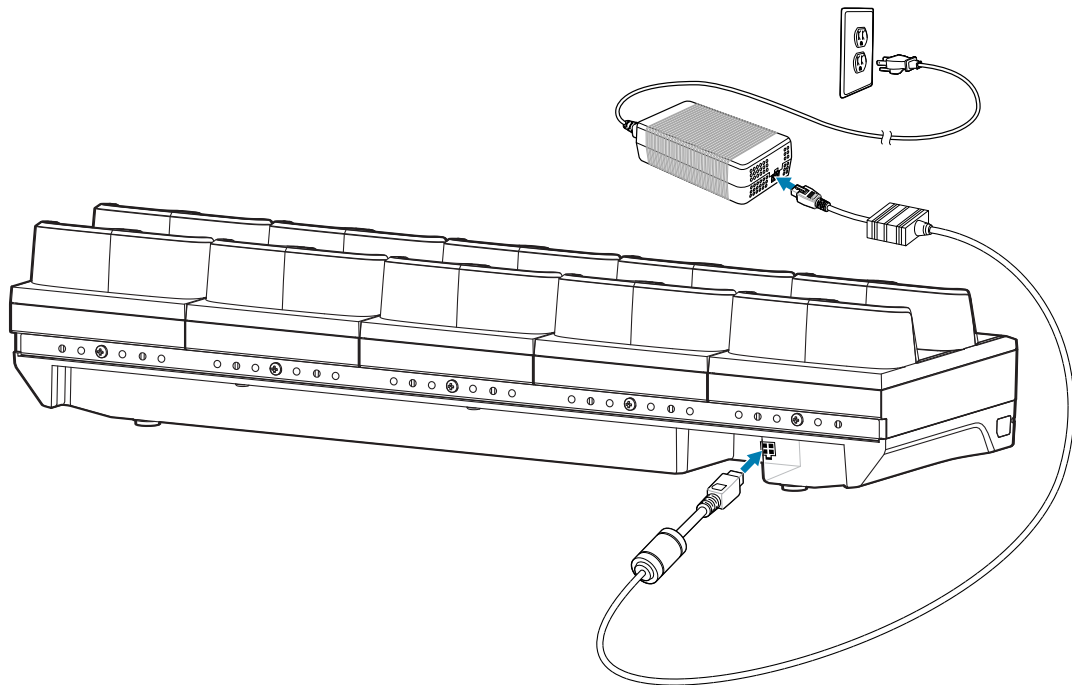
図 8 20 スロット充電クレードル



1	RS6100 充電スロット (20)
2	電源 LED

20 スロット充電クレードルのセットアップ

図9 20 スロット充電クレードルのセットアップ



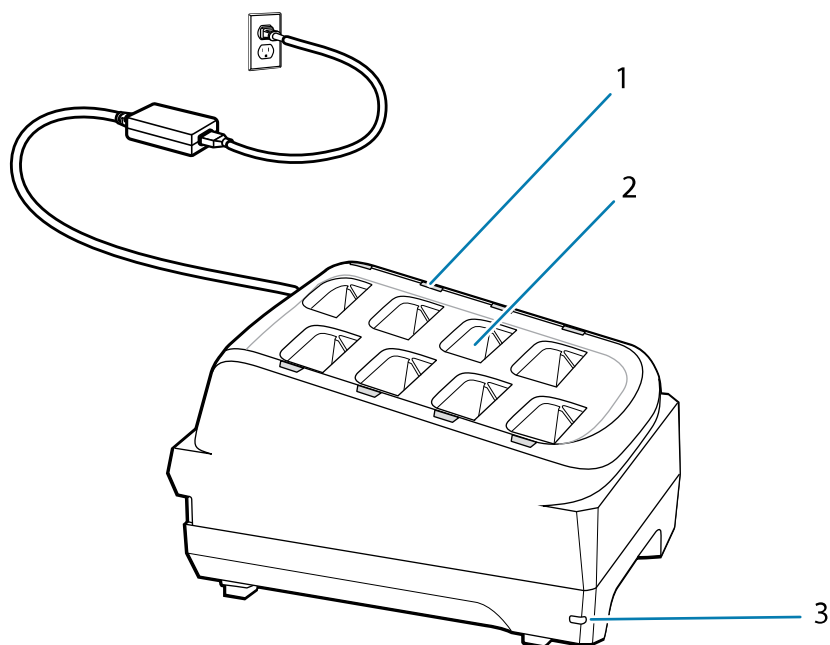
8 スロット バッテリー充電器



注：『RS6100 Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

8 スロット バッテリー充電器では、最大 8 個の予備バッテリーを充電できます。

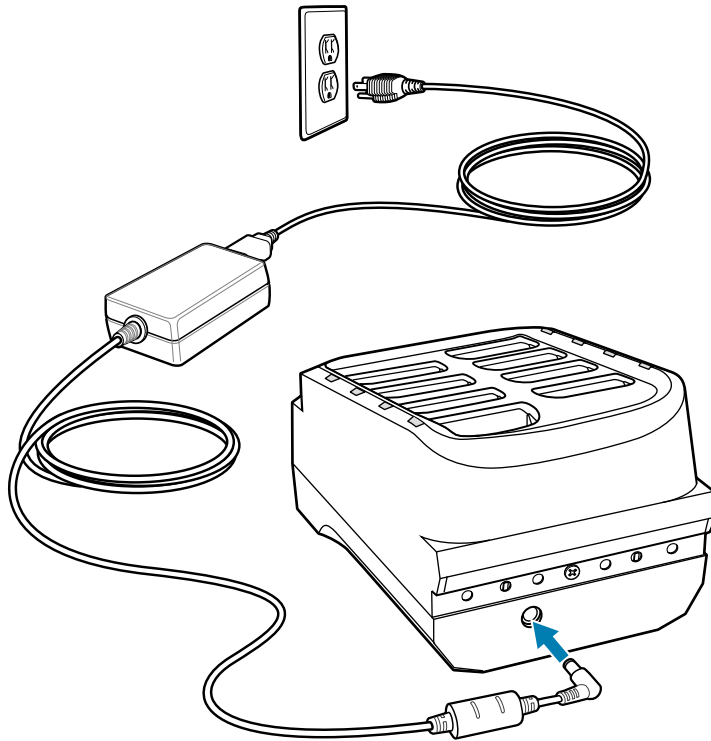
図 10 8 スロット バッテリー充電器



1	バッテリー充電 LED (8)
2	バッテリー充電スロット (8)
3	電源 LED

8 スロット バッテリー充電器のセットアップ

図 11 8 スロット バッテリー充電器のセットアップ



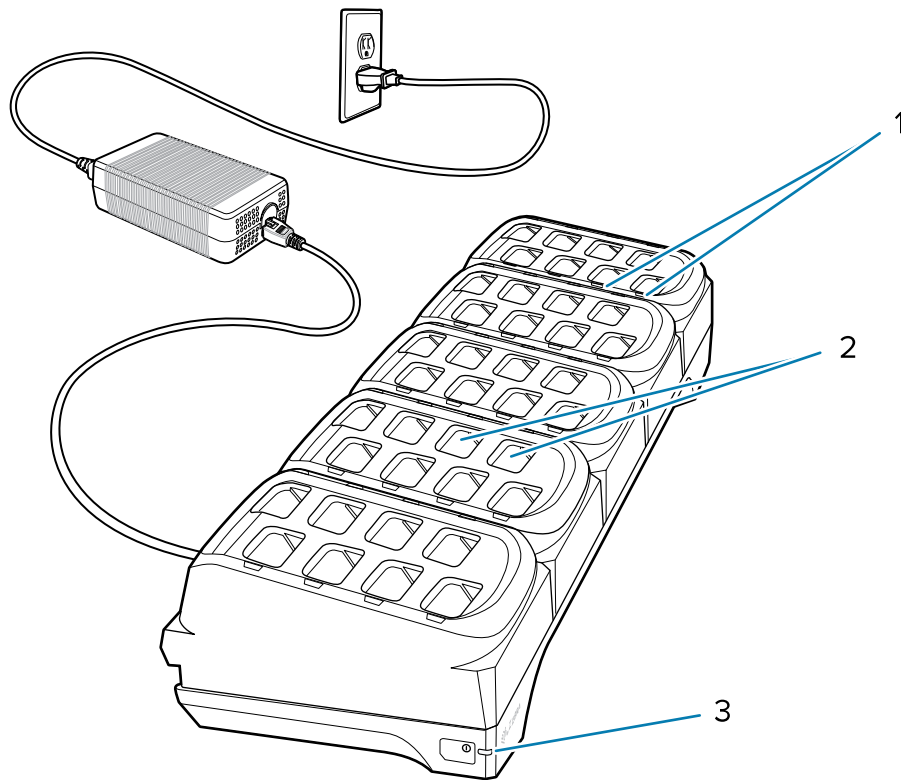
40 スロット バッテリー充電器

40 スロット バッテリー充電器では、最大 40 個の予備バッテリーを充電できます。



注：『RS6100 Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

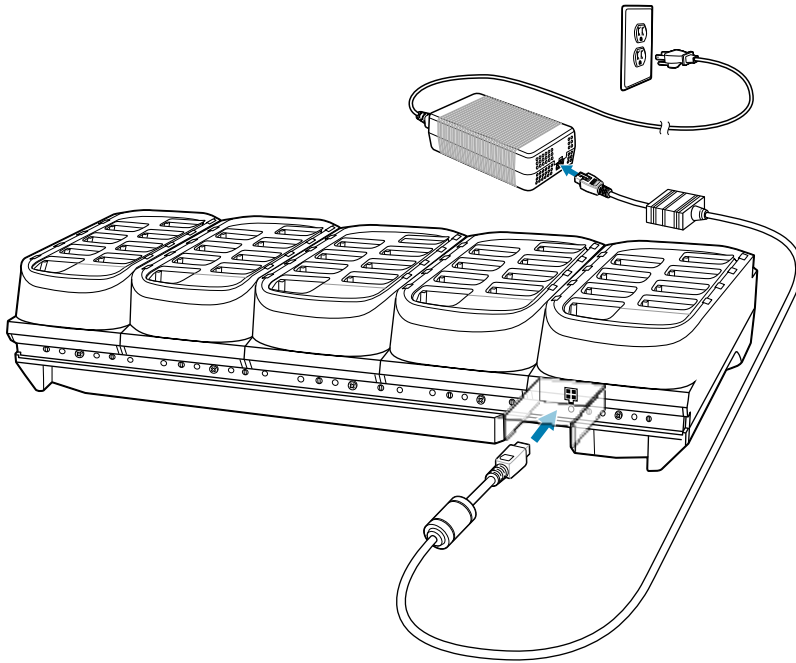
図 12 40 スロット バッテリー充電器



1	バッテリー充電 LED (40)
2	バッテリー充電スロット (40)
3	電源 LED

40 スロット バッテリー充電器のセットアップ

図 13 40 スロット バッテリー充電器のセットアップ



人間工学に関する考慮事項

- 同じ動作の繰り返しは、極力減らすか、なくすようにしてください
- 自然な姿勢を保ってください
- 過度に力が必要な動作は、極力減らすか、なくすようにしてください
- 頻繁に使用するものは手の届く範囲内に配置してください
- 作業は、適切な高さで行ってください
- 振動が発生する作業は、極力減らすか、なくすようにしてください
- 直接圧力を受ける作業は、極力減らすか、なくすようにしてください
- 適切な距離を保ってください
- 適切な作業環境を用意してください
- 作業手順を常に改善してください

